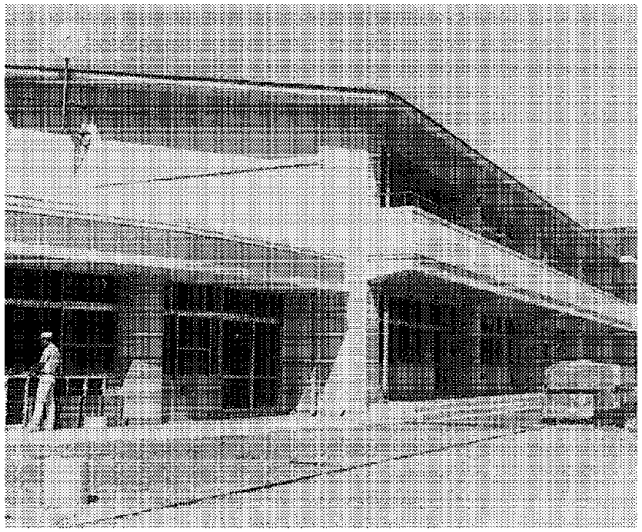
掲載日:1991年08月21日, 面名:MDXX, 記事ID:K19910821MDXX020 (C)河北新報社

新学期は新校舎で

松島二小

鉄筋でも木の香り

引っ越し7月完了 自慢は広々スペース



工事遅れのため新校舎への移転が遅れていた松島二小（鈴木幹男校長、児童数二百七十一人）は二十六日、二学期の始業式から新しい鉄筋校舎＝**写真**＝で授業を始める。

東北線愛宕駅前にあった松島二小では、老朽化した木造校舎の改築に合わせて、校地の移転計画を立てた。従来の位置から南西へ五百㍍ほど、線路を渡った山側の松島町高城字反町へ移ることにした。

当初計画では、ことし春から、新しい校舎での授業を予定していたが、工事遅れのため計画が大幅にずれ込み、夏休み中の七月、ようやく引っ越しを済ませた。

新校舎は鉄筋二階建て、約三千三百平方㍍の規模で、普通教室が十一、特別教室が四、多目的ホールが一などとなっている。屋体や通学の歩道橋も完成した。松島第二幼稚園（三百三十平方㍍）も併設された。

新しい校舎の自慢の施設は、広さもたっぷりとしたホールをはじめ、音楽室、廊下などゆったりとしたスペース。壁や床などに木質材を使い、木造校舎に親しんだ生徒、父母の要望に応じたという。プールは来年度に建設の予定となっている。